

【技術の名称】 鉄骨ブレース無溶接耐震補強工法 －接着剤により鉄骨ブレースを取り付ける耐震補強工法－（改定2）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-14号 改2 性能証明発効日：2023年6月26日 【取得者】 鉄骨ブレース無溶接耐震補強工法研究会 （代表会社） 株式会社安藤・間
--	--

【技術の概要】

本技術は、既存鉄骨建物の柱・梁部材に補強鉄骨ブレースをエポキシ樹脂接着剤で取り付ける耐震補強工法である。H形鋼、角形鋼管および非充腹組立材のフランジ面にガセットプレートを接着接合し、鉛直ブレースあるいは水平ブレースをこのガセットプレートにボルト接合により取り付ける。ガセットプレート取り付け部には、ガセットプレート脱落防止および地震時の面外方向力に抵抗するためのキー鋼板をボルトで取り付けている。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第12-14号（2012年8月27日）
改定：GBRC 性能証明 第12-14号 改（2015年9月24日）
- ・耐熱型接着剤の追加
 - ・非充腹組立材への適用範囲の拡大
- 改定2：GBRC 性能証明 第12-14号 改2（2023年6月26日）
- ・接着面積・形状の拡大 200φ以下の円形に200～300角を追加
 - ・接着面下地処理方法の追加 バキュームブラスト処理にブリストルブラスト処理を追加

【技術開発の趣旨】

従来工法による鉄骨ブレース耐震補強工法では、既存躯体と補強ブレースは現場溶接接合で取り付けられている。しかし、現場溶接は火災発生の危険性が高く、また溶接の作業性が悪く品質管理が困難な場合が多くみられる。この工法では接着接合によりブレースを取り付けることで、これらの溶接接合の問題点を解消することを意図して開発されている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「鉄骨ブレース無溶接耐震補強工法設計・施工指針」に従って設計・施工された補強鉄骨ブレースは、同指針に定める耐力と変形性能を有し、その構造性能は指針に示された方法で適切に評価できる。

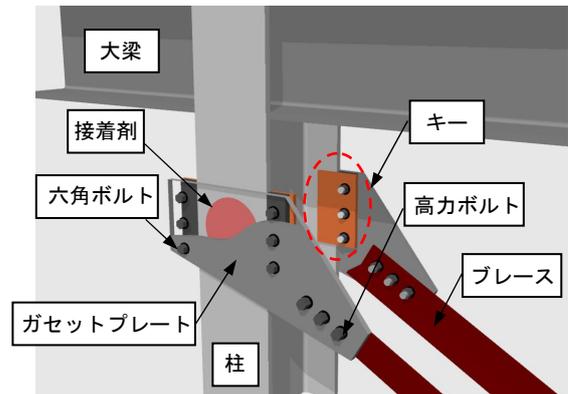


図1 工法概要

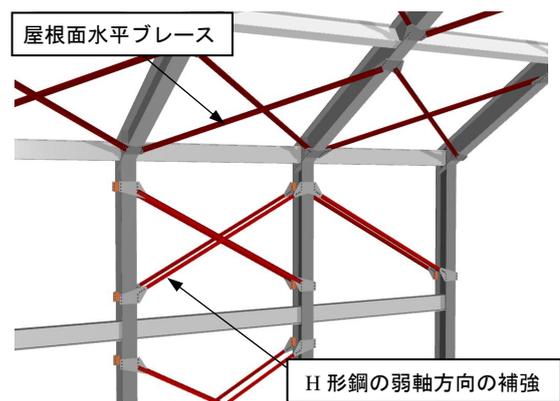


図2 適用事例

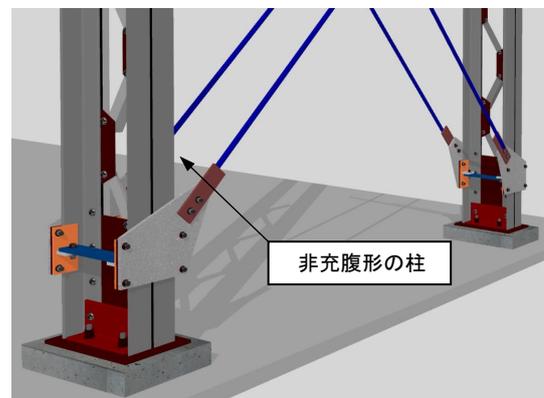


図3 非充腹形部材への適用事例

【本技術の問合せ先】

鉄骨ブレース無溶接耐震補強工法研究会（西武建設（株）、（株）安藤・間）

（代表会社） 株式会社 安藤・間 担当者：松浦 恒久

〒 305-0822 茨城県つくば市荻間 515-1

E-mail：matsuura.tsunehisa@ad-hzm.co.jp

TEL：029-858-8812 FAX：029-858-8819